

令和8年第6回教育委員会定例会 会議録

日 時 令和8年6月30日（火曜日）午後1時00分～午後2時20分

場 所 北栄町役場 第1委員会室

出席者 笠見隆志教育長、徳岡幸裕委員、岡崎しづみ委員、西川健治委員、津島望委員

事務局（説明等の出席者） 松本教育総務課長、渡辺生涯学習課長、杉川図書館長、松尾公民館長、眞山参事、稲井室長

（開始）午後1時00分

教育長

令和8年第6回教育委員会定例会を始めさせていただきます。

2 会議録署名委員の指名をお願いします。

事務局

徳岡代理と西川委員をお願いします。

3 行政報告

（教育長、各課長 資料にて説明）

教育長

行政報告は以上です。ご質問を受けたいと思います。教育長報告についてはいかがでしょうか？（なし）

教育総務課についてはいかがでしょうか。

徳岡委員

問題行動について具体的に教えていただきたいです。

事務局

（詳細を説明）

徳岡委員

大栄中学校ってあんまり聞かないのにちょっとびっくりしたというのと、この暴力を振るう生徒間暴力、叩く蹴るといういじめのところとは具体的にどう違うのですか。

事務局

今回の2件とも加害生徒の方が最初に挑発をしているというか、それを静止するというか、やめて欲しいという部分が言葉ではなく行動に移してしまっているというところでしょうか。だから一方的にということではないということです。

教育長

その他よろしいですか（なし）

生涯学習課についてはいかがでしょうか。

津島委員

すいか・ながいも健康マラソンの件ですけど、駐車場が近いところからみんな停めたいだろうなというところがあるので、開催前の時点で予想がついたかなとも思います。個人的には最初のゼッケンを配る時点である程度駐車場を振ってしまっておくのが一番いいだろうなと思っていました。こちらの都

合で走れなかったということだったと思いますので10kmの方が、バスの不手際で走らせてもらうことができなかったということで感情的になっておられる方もおられました。スポーツ推進員さんは対応されるのが大変だったかなと思いました。いい方法があったらいいのにと、その時に思っていたのですが、セキュリティ的な関係でということであれば難しいだろうと、聞いて思いました。後続車をもう1台増やすというのは難しいですか？

事務局

どのタイミングで後続車を出すのかというところは、もう1回考えてもいいかなとは思いますが、交通規制との絡みもありますし、どこまでできるのかなという気はしています。検討の余地はあるとは思いますが、一番いいのは、いま津島委員のご意見いただきましたが、ここが駐車場です、どこでも停めて下さいというのが今のやり方については、駐車券方式、駐車場を割り振って、あなたがここですよというやり方が一番適切なのかなという気はしていますので、それについて実行委員会で提案を試みようかなと思っていますところでは。

津島委員

今回近いところの駐車場に停められなくて初めてシャトルのエリアの駐車場に停めたっていう知り合いが、シャトルだとほぼ会場に入れるので楽だったって言っていました。出会いの広場から歩いていくっていうかたちよりも、シャトルだったらそこからそこまで行けるっていうのは楽だったっていうことだったので、多分駐車場の位置が遠くなってそんなに不都合があるっていうこともないと思うので、ランダム方式で指定するのがいいのかなっていう感じでした。

徳岡委員

走る人だけが車停めるのでしょうか。見に来る人もかと。

事務局

おられると思います。

教育長

今回は停められたと思います。何も整備がなかったから。駐車券配ったらどうなるか。

徳岡委員

駐車券を配るのもいいけど、走る人はいいかもしれないけど、停めようとする人が来るとまた渋滞ができるとバスが動かないということもあるので、じっくり実行委員会の方で練っていただいたら。これも何度かやった方がいいかもしれないですねいろんな考え方があるので。これがいいかなと思っていたらまた別のトラブルが生じることあると思います。

津島委員

何も対策もせずの2回目ではなくて、対策をしようとしての2回目は違うと思います。

事務局

いろいろな想定をしながらしていきたいと思います。

徳岡委員

ほくほクラブ、今16人になったということですけど参加したい人は各学校で自分がやりたいですという自発的なところから参加者を募っていたのでしょうか？

事務局

そうです。

徳岡委員

分かりました。それを確認したかっただけです。

教育長

図書館についてはいかがでしょう？

教育長

図書館で取れるデータ、今ここには貸出冊数と入館者数が書いてあるのですが、例えば絵本・児童書の貸出冊数の増減とか取れるのかどうか。どういう利用者が使っているかですね。レファレンスの数は出してって言ったらすぐ出るかなと思います。あとこれは取れるかどうか分からないですけど、勉強目的で図書館を使っている子がどれくらいいるのかというような数字で難しいことだとは思いますが、数字を持ってもらえないかなと思っています。例えば勉強で使っている子は、新しい分館ができた時にそっちは多分使える感じもあります。そしたら図書館使う子と分館で勉強する子を合計したら増えているとか、勉強する子も。1つの実態を表すなど。分館ができることをイメージした時に取れる数字を取っておいて欲しいと思ったのですが、ご検討いただけたらありがたいです。

事務局

喋るために集まって来ている子達もいる。勉強や読書以外の目的で訪れる生徒さんが多くてその生徒さんが分館の方に流れていくのかなと思います。

教育長

まだできてない分館のことも言いにくいですけど、ゾーン分けみたいのはありますよね。多少声出す人はここ、静かな人はここみたいなのが公共施設であったりするのですがそういうことも考えるのかもかもしれません。今すぐどうこうではないですけどもそういう時の参考になるようなデータが取れたらいいなとは思っています。

教育長

その他よろしいでしょうか。(なし)

中央公民館につきましてはいかがでしょう。

皆さん公民館まつりは行っていただけたでしょうか。平日はパラパラでしょうか。

事務局

今日も午前中はパラパラでしたけど、土日は結構多かったです。

教育長

品質やバリエーションも多めな感じがしました。以上、行政報告を終わります。

4 議案

○議案第41号 北栄町実習受入に伴う費用徴収等に関する要綱の制定について

事務局

(資料にて説明)

教育長

ご質問、意見ございますでしょうか。(なし)

議案第41号 北栄町実習受入に伴う費用徴収等に関する要綱の制定についてご承認いただけますでしょうか。(承認)

5 協議事項

○令和8年度全国学力・学習状況調査の結果公表等について

事務局

(資料にて説明)

教育長

ご質問いかがでしょうか。

西川委員

その他4番(1)で「町教育委員会は学校名を明らかにした公表はしない」と、これは文部科学省のお考えだったと思いますが、各学校が公表したものを町が受け取るということで、これは地教委が求めているというわけではなくて、各校が自主的に提出するということですか？

事務局

こちらとしては把握をしておきたいというところでしょう。

西川委員

把握しておきたいから求めているということですか。

事務局

そうですね。町としては公表しているのですが、各学校でも具体的な対策をそれぞれ練っていただくようなことになります。

西川委員

地教委も学校もそれぞれの判断で公表することは多分認められているということですよ。

事務局

はい。

教育長

この10月2日に何か根拠はありますか。もっと早くはならないですか。

事務局

もっと早くと言われたら出るようになるとは思いますが、地教委がまず示しておいて、それを受けながら各学校で、となっていました。公表自体が早くなったということがあります。例年夏休み後に公表があったのですが、一学期中にしますのもそれも見越して夏休み中に色んな分析をして町と同時期に出してと言ってもできなくはないとは思いますが、実際どうでしょう、というところですね。

教育長

探ってみてやっぱりここでないといけないという感覚があるなら。外部から早くならないかと言われた時にこうこうこうで言えたらいい。どうですか。

事務局

明後日、教育連絡会がありますのでその辺りで言ってみます。

教育長

それでは協議事項ですので今のやり取りで協議したということでもいいですかね。以上とさせていただきます。

6 報告

○北栄町立認定こども園業務改善プラン（令和7年度）取組報告について

事務局

（資料にて説明）

教育長

ご質問ございますでしょうか。

徳岡委員

有給も増えているし残業も減っているということなのですけども、北栄町で保育士さんを募集した時は十分足りるほど来ますか？

事務局

十分とは言い難いところはあるんですが、今年度の配置については、1日A（7.5時間以上フルタイム）、B（5時間）、C（3時間程度）の職員で、今年度については配置したい必要数の正規職員とA職員というのは確保できました。昨年度は年度当初確保できていなかったです。代わりにBの配置職員をCに配置換えした職員もあります。今年度に関しては、年度当初だけで言えば確保はできているということかなとは思いますが。職員の確保というところでは、年休取得の状況だとか時間外の状況だとかっていうところを、上手に説明して人を募集するっていうことが大事なのかなというところなんです。ただ正規職員の募集に関しては、総務課等にお聞きするとなかなか少ないというような状況だと聞いています。

徳岡委員

職員さんの定着率っていうのはいい方ですかね。辞めていってしまう人はありますか？

事務局

もちろんあります。

徳岡委員

定年ではなくて途中退職の人も。

事務局

はい。それぞれの事情がありますけど。

徳岡委員

学校の先生もなり手がないと聞いていたのでこども園もそうなのかなと思い聞いてみました。

津島委員

保育関係で限定したような奨学金みたいなものっていうのはないですか。

事務局

公務職場に対してはないですね。県がしている奨学金制度の返済をしなくてもいい制度が確かあるんですけど、特定の業種に対する。それに関して言うと公務職場での就職については対象外です。

津島委員

民間だったらきくけど町だったらきかない。

事務局

ただそこから先になると雇用条件の部分も出てくると思います。

特に保育現場に関して言えばどちらかというと公務職場の賃金の方が高いのではないかなと思っています。特に会計年度については、若年層の給料部分っていうのは毎年この何年か2万円ずつぐらい上

がっています。鳥取県内の民間の保育所こども園でそういった賃金を払うのはかなり厳しいのではないかなとは聞いています。

教育長

この改善プランに対しての報告は以上とさせていただきます。

○第 51 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会への参加について（8 月 4 日（火）鳥取市 1 人）

事務局

（資料にて説明）

教育長

いかがでしょうか。

西川委員

研修会ですか。

徳岡委員

これ毎年順繰り回って、順で行くと西川さんに行っていただければと思います。

西川委員

大丈夫です。4 日ですね。

事務局

バスも出しますし、会の終わった後で 4 分散会がありますので、ご希望の分散会とマイクロバスの利用についてお聞きできればと思います。

西川委員

分かりました。行かせていただきます。よろしくお願いします。

○6 月議会一般質問答弁について

事務局

（資料にて説明）

教育長

ご質問がありますでしょうか。（なし）報告は以上とさせていただきます。

7 その他

○令和 8 年度教育委員視察研修【日程決定】

11 月 9 日（月）～10 日（火）大阪府豊中市豊島北小学校ほか

事務局

（資料にて説明）

教育長

ご質問ございますでしょうか。

徳岡委員

北条、大栄小学校では今も分けているのですかね。

教育長

分けていますね。何をもってインクルーシブって言っているのかよくわからないですが。支援学級で勉強を、と分けていると思っています。

事務局

世界的な流れでは、支援学級とかを分けずに1つの場所でみんなを教育するのがインクルーシブと言っていますが、日本は支援学級と通常学級分けているけれども、来てもらって一緒に勉強するっていうニュアンスが拭いきれない。ここの学校はそういうニュアンスを取り払ったようなかたちで支援学級もありますが、一緒に学習する場面で少し違ったアクセントを持ってされているのではないかなというところが伺えるといったところでしょうか。

徳岡委員

北条、大栄小学校の例えばどのクラスが一緒になってやっているかという、イメージができない。

事務局

低学年だと生活科。あとは授業や体育、音楽、図工などは一緒にやっている。国語とか算数とかっていうのは分けてしていると。あと行事も一緒にしています。

教育長

社会や理科は。

事務局

一緒にしている場合もある。

津島委員

支援学級5ということは学級は分かれているってということですか。

事務局

知的学級2の情緒学級3とあったりするので一概に学年に1つという決め方もできない。

津島委員

最初から最後までずっとその教室の中で一緒にしているというわけではなくて、結局必要に応じて出たり入ったりするっていうことは変わらないってことですよね。資料に書かれている感じでは。

事務局

はい。

津島委員

そういう大前提でまわっているとは書いてありますけれども、実際仕組みとしては変わらない感じなのでしょうか。

教育長

表面上の仕組みは現行のままで用意していて実態はこれなのかもしれない。

事務局

北栄町で生かす時にシステムが全く違ってしまっていては活かせないっていうところも加味して。同じようなシステムでどうしているか期待してというような。

徳岡委員

イメージとしては、いま小学校でも分かれているけど、その分かれる度合いは少なくしているかもしれないっていうことですね。支援学級はあるし計画訪問で行って見ているのとどう違うのかなと思い、よく分からなかった。

教育長

行ってみたらこちらも十分インクルーシブって言ってもよいのではないかってなるのかもしれない。

西川委員

何年か前にインクルーシブ教育ということで豊中に行った時にこういう考え方ではなかったですね。もっと一緒なんだと。以前に参加した視察では、例えば 40 人学級の中で 1 番後ろの方に男の子がストレッチャーに乗りながら授業を受けていた場面があって、いろいろ考えさせられました。特別支援学級という発想が当時なかったのも、本人、保護者の思いもどんどん変わってきてこうなったのかなと思いました。

教育長

方向性としてはこれでさせていただきたいと思います。

○次回教育委員会日程は

- ・ 第 7 回定例会 7 月 28 日（火曜日）13 時 30 分から
- ・ 第 8 回定例会 8 月 25 日（火曜日）13 時 30 分から

以上で第 6 回教育委員会定例会を終了します。

午後 2 時 20 分 閉会

令和 8 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員